

## 1. ブラジルブーム

現在、日本ではブラジルブームとも呼ぶべき現象が起きています。これは人口増加が止まり、高齢化が進みつつある日本ではこれ以上経済発展を求めることが難しいことから、企業がその成長を海外に求める傾向にあることが背景にあります。対象となる海外の国は所謂 BRICs と呼ばれる中進国や近隣のアセアン諸国が主体になっています。かつては中国ブームが起き、中国での安価な労働力を用いた生産と急成長する中国市場をターゲットとして多くの企業が中国に進出して工場を作りました。然しながら、不透明な政治・行政や自国企業を保護するための外国企業への多くの制限事項、そして人脈が無いとなかなかビジネス活動がうまくいかない、或いは日本の技術・製品をそのまま持ち込んでも売れない等、種々の困難に直面し、進出はしたもののなかなかうまくいかない企業が多いのも事実です。そのような状況から今では中国熱はかなり冷めてきて、多くの企業がインド、ブラジルに目を向けるようになってきています。勿論、中には中国でのビジネス展開に成功して次のターゲットをインド、ブラジルに置いた企業もあります。

インドには複雑な文化・階級があって日本とは異質な面が多く、経済規模としても小さいことから多くの企業が現在、ブラジルに目を向けつつあります。

このような背景から日本のマスコミではブラジル特集が一種の流行になっており、東洋経済、週刊エコノミスト、日経新聞、産経新聞等で様々な観点からブラジル特集が組まれました。また、講演会或いはセミナーでブラジル経済、またはブラジルへの進出を題材としたものも多数開催されています。

また、ブラジル日本商工会議所の加盟社数もかつての最高に迫る勢いで増加していて、企業がブラジル進出を検討する際に必ず立ち寄る JICA にも昨年は約 600 社が訪れたそうです。

このように多くの企業がブラジルに進出しつつある、或いは進出を検討している背景としては、勿論、GDP 世界第 7 位となった経済規模があります。この他にもブラジルの豊富な鉱物資源でのビジネスチャンス、豊富な水に裏打ちされた農作物の輸出、そして中間層の増加による消費活動の高まり等、経済データに示される大きなポテンシャルがあります。個人的には今後ブラジルが種々の問題を克服して順調に経済発展を遂げていけば、米国以上の国になるのではないかと思います。

## 2. 企業にとっての日系人社会

前駐ブラジル大使であった島内氏は退職された後、日本で盛んにブラジルについての講演をされていますが、氏がブラジルでの日本企業のビジネス展開を論ずる際に他国企業と比べた場合の日本企業のメリットとして必ず挙げられるのが、ブラジルでの日本人への信頼感と親日感情です。氏はこの要因として、①日系人社会の存在、②ナショナル・プロジェクト、③ODA を挙げておられます。氏の講演の中から引用させていただきますと、「日系社会の存在を抜きにブラジルとの関係を論じることはできない。ブラジルの日系人口は 150 万人と世界最大である。ブラジル人の大多数は日本人移住者と日系人の働きぶりやブラジルの国造りへの貢献についてよく知っており、高く評価している。両国関係においても、このことが、日本と日本人に対するブラジル人の信頼感となって現れている。

最近、日系人の幅広い分野への進出と目覚ましい活躍が目立っている。従来から盛んだ

った政界、司法界に加え、近年においては、中央官庁、ビジネス界、ジャーナリズムなどへ進出が急速に進んでいる。また、従来から、日系社会は理工系の人材を輩出しているが、現在、日系エンジニアの数は5万人に上ると言われ、今後本格化するインフラ建設などにおいて活躍するものと思われる。ブラジル経済が急速に成長し、高度化し、国際経済において存在感を増大させている中で、様々な分野で有能な人材が一人でも多く必要とされている。ブラジルの日系社会はこのようなブラジル社会のニーズに応えうる優秀な人材の宝庫として重要性を増している。現在ブラジルの日系社会は3世、4世中心の時代になっており、日本語が話せる人は非常に少なくなっているが、こういう若い世代の日系人、特にエリート層は日本のルーツに高い誇りを持っており、両国関係に各自の立場から尽力したいという気持ちを強く持っている。欧米諸国を含め、ブラジルでこのような頼りになる応援団を持っている国は他にないのではないかと思います。」

これは氏に限らず多くの日本企業が同じような見方をしていると思います。ブラジルのイメージといえば、やはり親日的で多くの日系人がいるので安心できる、というものだと思います。また、多くの日本企業にとって日本語を話せる日系人を雇用することのメリットは大きく、例えば日本からの出張者の対応を安心して任せられる、或いは必ずしも英語の得意でない地元ブラジル企業の人と話をする際に通訳のような役割をして貰う等、非常に重宝しているのが実態だと思います。我々三菱重工ブラジルでも、私はポルトガル語を勉強中でまだ余りうまく話せないで、社内では多くの日系人を雇用して彼らとは日本語で会話をしています。

一方でこのような日系人の使い方に批判があるのも事実で、ウエキ氏のように、ブラジルでビジネスを展開する以上、ポルトガル語を習得しポルトガル語でビジネスを行わないと本当の意味でのブラジルでのビジネス活動にはならないという議論もあり、それはそれで的を得ていると思います。

### 3. 日系人社会のアイデンティティー

以上、ブラジルでの日系人社会が我々日本企業にとってどれだけ重要で頼もしい存在かを申し上げてきましたが、この日系人社会も曲がり角に来ているのではないかと思いますというのが私の率直な感想です。150万人と言われる日系人社会ですが、一世・二世が少なくなり三世・四世が主体となっていくにつれ、日本語を話すことができない、或いは日本文化を理解できない日系人が増えていることは間違いありません。何を以って日系人とするかは表面的には日本人の血がどれだけ入っているかということになるのですが、日本人のような顔をしていても考え方は全くブラジル人そのもの、例えば時間を守らないのが当たり前のような人も時々見掛けます。島内氏が言うように「日本語が話せる人は非常に少なくなっているが、こういう若い世代の日系人、特にエリート層は日本のルーツに高い誇りを持っており、両国関係に各自の立場から尽力したいという気持ちを強く持っている。」のかどうか私には良く分かりませんが、日系人としてのアイデンティティーをどこに求めるのかは重要な問題だと思います。

かつて日本でも家系図ブームが起き、米国でもルーツ探しがブームになった時期がありました。日系人がもし自分のルーツにアイデンティティーを求めたとしたら、日系人のルーツである日本人移民の歴史を記録したこの日本人移民史料館、或いは人文研の記録・資料

こそがそれに応えてくれるのだと思います。先日、保久原氏は人文研の講演で、過去を正しく知ることこそが現在の自分を考える上で極めて重要だ、という趣旨のことを仰っていました。そのように過去を正しく知りたくなった時に、自分の祖先がどのようにブラジルに来て、そしてどのような努力をして今日を築いたのかを知ることが心有る日系人にとっては重要なことだと思います。

負の側面まで含めて正しい日系人社会の歴史を知った上で、日系人としての誇りを持って頂ければ同じ日本人をルーツに持つ者としてこんなに嬉しいことは有りません。

#### 4. 人文研への勝手な提言

企業にとって最も重要なことはその理念であり、多くの場合、何らかの社会貢献を通じて利益を生みそれを株主に還元すると同時に次の企業活動の原資とします。

三菱グループは現在では各企業間に殆ど資本関係がありませんが、三菱綱領と呼ばれる理念を共有しています。それは

- ・顧客第一の信念に徹し、社業を通じて社会の進歩に貢献する。
- ・誠実を旨とし、和を重んじて公私の別を明らかにする。
- ・世界的視野に立ち、経営の革新と技術の開発に努める。

というものです。

少し手前味噌になりますが、このような 100 年以上の長きに亘って継承されてきた企業理念を持っているからこそ社会の中で一定の地位を保つことができたのだと思います。

人文研について考えてみると、私がまだ良く理解できていないからでしょうが、何のために人文研が存在しているのかが余り明確ではありません。「ブラジルでの日本移民史・日系社会・日本との交流」についての調査研究活動が人文研の存在目的だとすると、それらの活動は単なる研究・記録に終わってしまうかもしれません。先に述べたようにそれはそれで日系人社会への貢献ではあると思いますが、今後人文研が存続し発展していくためには、その理念をもっと明確にした方が良いでしょう。例えば、現在の奨学制度の目的が日系文化を理解した日系人の養成にあるのであれば、「日系文化の保存とその啓蒙」も積極的な立派な理念であるでしょうし、日系文化が時代と共に変化していくことを考えてやや消極的に「日系文化の変遷の記録」を理念とするのも良いでしょう。現在の活動をベースに人文研を考えるのではなく、まず理念を決めてそれをベースに現在の活動を見直すのも一つの方法だと思います。

企業は新入社員を採用し定年を迎えた方が企業から去っていくことにより、常に企業活動を維持しています。多くの歴史が示すように同じリーダが長く組織を統率すると弊害が現れるケースが殆どです。人文研の組織については良く理解できていませんが、例えば奨学生の中で優秀な方に加わって頂くとか、新しい血の導入は必要なことではないかと思います。

以上、かなり勝手に一方的なことばかり申し上げましたが、お聞き苦しい点があれば、まだブラジルに来て 1 年余りの腰掛駐在員の言ったこととお聞き流し頂くようお願い申し上げます。